

氏名	徳丸伸之
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲第331号
学位授与の日付	昭和44年9月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系皮膚科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	表皮角質のアミノ酸分析に関する実験的研究
論文審査委員	教授 水原舜爾 教授 新島端夫 教授 山崎英正

### 学位論文内容の要旨

白色モルモットにn-Hexadecaneを塗布して角質増殖をおこし、その鱗屑を生食にして抽出し、遊離アミノ酸、生食可溶性蛋白、生食不溶性蛋白の3画分を得た。各画分のアミノ酸分析を自動分析装置を用いて行い、当教室の服部の行った乾癬鱗屑の分析結果と比較検討した。1) 遊離アミノ酸画分では、乾癬鱗屑に比して、モルモット鱗屑で、arginine, half-cystine, methionine が高値を示し、aspartic acidが低値を示した。2) 生食可溶性蛋白画分では、乾癬鱗屑に比してモルモット鱗屑で、half-cystine, methionine が高値を示した。3) 生食不溶性蛋白画分では、乾癬鱗屑に比してモルモット鱗屑で、half-cystine の高値と、arginine の著減が認められた。以上の実験より、人の乾癬病巣に生じる角質と、モルモット皮膚のn-Hexadecaneを塗布した際に生じる角質とは、そのアミノ酸組成の量的比率が特異的に異っていることが明かにされた。従ってこの両者における表皮角化の機転には明らかな相異があるものと考えられる。

## 論文審査の結果と要旨

本研究は表皮の独特な機能である角化現象について生化学的研究を行ったものであるが、角化生成物のアミノ酸分析所見を詳細に追求することにより、従来不明の点が多かった角化機転の解明に重要な新知見を加えたものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。